



# 奈良県感染症情報

令和2年第38週(9月14日～9月20日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 今週の概要

- 小児科外来情報

## ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	1.71	(1.94)	➡	➡	➡	↗
2	突発性発しん	0.71	(0.50)	⬆	⬆	⬆	⬇
3	ヘルパンギーナ	0.62	(0.59)	⬆	⬆	↗	⬆
4	A群溶連菌咽頭炎	0.35	(0.38)	↗	↗	↗	⬇
5	水痘	0.26	(0.03)	⬆⬆	⬆⬆	↗	➡

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **⬆⬆**急増、**⬆**増加、**↗**やや増加、**➡**横ばい、**↘**やや減少、**⬇**減少

## ◆ 県内概況 ◆

定点把握感染症では、ヘルパンギーナ、水痘が少し流行の状態になっています。

秋冬にかけて、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行が懸念されています。

新型コロナウイルス感染症の第38週の感染者数は、少ない状態でした。

季節性インフルエンザについては、10月からワクチンの予防接種が開始されます。ワクチンは季節性インフルエンザによる肺炎や脳症等の重症化を予防する効果があります。特に高齢者は重症化しやすいとされ、65歳以上の方などは定期接種対象となっています。接種を希望される場合は、流行前に確実に接種ができるよう、早めに医療機関に相談するようにしましょう。また、新型コロナウイルスや季節性インフルエンザ等の感染症の予防・拡大防止のため、引き続き手洗いや咳エチケットを行い、3密(密閉、密接、密集)を避けることをこころがけましょう。

## ❖ 小児科外来情報 ❖

### 北部地区(田中小児科医院)

ワクチン接種歴のある児童の水痘が少数だが続いている。  
喘息の既往のある子で、鼻汁と咳を主訴とする来院が増えている。  
来院数に大きな変化はない。

### 中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数は多くない。  
短期の発熱の感冒例が主。今夏は手足口病、ヘルパンギーナ等の夏風邪も少なかった。  
感染性腸炎は少ない。インフルエンザはまだない。  
他の登録感染症はなかった。

### 南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

ヘルパンギーナの流行が続いている。  
いずれも対症療法で軽快している。  
下痢中心の胃腸炎が増加。ノロウイルス等の迅速検査は陰性だが、症状が遷延する傾向あり。  
朝晩の気温低下にあわせ呼吸器感染症が増加しつつある。



出典: 厚生労働省HP

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 2 年 第 38 週 9 月 14 日 ~ 20 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ								
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症								
咽頭結膜熱	5 (0.15)		1 (0.11)	2 (0.29)	1 (0.17)		1 (0.50)	
A群溶連菌咽頭炎	12 (0.35)	2 (0.22)	4 (0.44)	3 (0.43)	3 (0.50)			
感染性胃腸炎	58 (1.71)	14 (1.56)	10 (1.11)	10 (1.43)	21 (3.50)	2 (2.00)	1 (0.50)	
水痘	9 (0.26)	2 (0.22)	4 (0.44)		2 (0.33)		1 (0.50)	
手足口病	2 (0.06)	2 (0.22)						
伝染性紅斑								
突発性発しん	24 (0.71)	4 (0.44)	6 (0.67)	6 (0.86)	8 (1.33)			
ヘルパンギーナ	21 (0.62)	6 (0.67)	3 (0.33)	3 (0.43)	5 (0.83)		4 (2.00)	
流行性耳下腺炎	2 (0.06)				2 (0.33)			
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	1 (0.10)			1 (0.50)				
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎								
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ( )は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核3件(郡山1、中和1、内吉野1)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症1件(奈良市1)
4類感染症	
5類感染症	梅毒1件(中和1)

❖ 第38週のトピックス ❖

◆ NESIDに届出された20歳未満の新型コロナウイルス感染症例のまとめ  
(2020年2月1日～5月28日)(国立感染症研究所HP)

<https://www.niid.go.jp/niid/ia/covid-19/9853-covid19-22.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。  
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数  
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男																						3009
	女																						
RSウイルス感染症	男																						105
	女																						
咽頭結膜熱	男		1	3	1																		5
	女																						
A群溶連菌咽頭炎	男				2			1		1		1	2										7
	女				2		1	1		1													5
感染性胃腸炎	男		1	7	2		5	1	2		2	1	5	2	5								33
	女		1	6	2	3		2	3	1		2	2	2	3								25
水痘	男			1					1	1	1		3		1								3
	女																						6
手足口病	男																						2
	女			2																			2
伝染性紅斑	男																						
	女																						
突発性発しん	男			6																			6
	女		8	10																			18
ヘルパンギーナ	男			4	2	2		1															9
	女		1	3	4	1	3																12
流行性耳下腺炎	男											1											
	女												1										2
急性出血性結膜炎	男																						
	女																						
流行性角結膜炎	男							1															1
	女																						
細菌性髄膜炎	男																						
	女																						6
無菌性髄膜炎	男																						
	女																						3
マイコプラズマ肺炎	男																						
	女																						1
クラミジア肺炎	男																						
	女																						1
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						
	女																						2

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ R2 ▲ R1 □ H30 〰 過去10年平均

